

# 未来づくり懇談会（東泉）会議録

日 時：平成28年7月21日（木）

19：00～20：35

場 所：東泉自治公民館

出席者：市長、総合政策課長、都市建設課長  
総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

Q1 スマートICが出来るにあたって、どのように泉地区の活性化とリンクさせていくのか。

A1 平成28年度予算でスマートIC周辺地区の産業団地の適地調査をしている。産業団地の立地可能性を探っていきたいと考えている。

Q2 行政側で泉地区のまちづくりのビジョンはあるのか。また、まちづくりをしていくにあたって地域おこし協力隊だけに頼っていくのか、地域住民が関わっていくことはないのか。

A2 地方創生には二つの戦略がある。人口減少を克服し、人口を維持して増やしていく克服戦略と人口が減っていく状況にうまく適応させる適応戦略がある。

コミュニティを維持していくためには、泉地区の住民の皆さんでいろいろ議論し、方向性を見出していくのが前提となる。

5 行政区設定テーマ

道路整備の今後の計画について

当地内の主要な市道は109号線、本町東泉1号線であるが、109号線については、御屋敷橋から県道矢板那須線までの最初の整備計画の説明があったのは平成6年で、平成9年には境界確認、平成12年に測量立ち入りがあり、順調に行けばスムーズに実行されるものと思っていたが、その後何の動きもなく心配していた。

ところが平成26年12月頃に関係者への説明、平成27年度には詳細設計との説明と急に話が進み始めたが、関係者、当地区住民に期待がある反面、不安もある

ので、今後の整備計画について聞かせたい。併せて管轄外になるが、県道矢板那須線泉地区バイパス道の計画についてもわかる範囲で聞かせたい。

A 市道109号線道路整備計画については、二十数年前に山田地内から東泉の御屋敷橋まで整備し、未整備区間については平成6年の説明会、平成9年の境界確認と進めてきましたがその後進まなかった経緯がある。現在は現況測量などを実施し平成27年度から詳細設計の策定を進めている。

県道矢板那須線については県の事業だが、平成27年度に現道の東側にバイパス道路を新設し、通過交通量を排除することで安全性向上を図る計画とする整備方針が決められた。現在は道路計画の詳細設計を策定しているとのこと。計画では起点の下太田から終点の田野原まで全長約3キロメートル。現道の東側に計画されている。

今後の予定は、県で進めているバイパス交差部の計画素案が出来るので同じ時期に関係者に説明会を実施する予定。

Q1 本町東泉1号線についても、荒井地区の一部で工事が止まっている。朝夕の交通量も多く、道も非常に悪い状態。今後の見通しを伺いたい。

A1 本町東泉1号線と市道109号線の予算は同じ事業になる。必要性については理解しているが、東泉地区の優先順位を考えるとやはり市道109号線を優先するのが現在としては現実的な対応と考えている。

## 5 意見交換

O1 福島県白河市で買い物ツアーのマイクロバスを運行していた。料金は無料で市が負担している。市でもショッピングデマンドバスを検討してもらいたい。

Q1 地域住民が一番望んでいるのは商業施設。公営民設でも民設公営でも小さな店でもいい。人が集まる、歩いて行ける施設が欲しい。また、子どもが少ない中でどのように特色ある教育を行っていくのか。

A1 小さな拠点構想の中に集落コンビニというものがあるので、泉地区に活かせるよう研究させていただく。教育については小中学校の機能を統合していくなかで泉地区ならではの教育を行っていくことも方向性のひとつとしてあるのではないかと考えている。

Q2 第2次21世紀総合計画の課題が総花的で矢板市の人材、財政的資源では到底出来ないと感じた。課題に対して総花的ではなく、やりかた、優先順位を吟味して、いつまでに、何を、どうするかということを具体的に示してほしい。

A2 今回策定した総合計画については以前の計画と違うところが二つある。1点目は人口目標を現実に即した数値に設定して施策を推進していくこと。2点目は総合戦略を総合計画に盛り込んだうえで、事業施策について重要な目標指標を設定し、5年後にどうやって達成したかという検証をしっかりとやる仕組み・手順を定めている。総合計画には具体的な数値目標が書かれていないので、具体的に毎

年実施していくためには各年度の事業ごとに実施計画を作り、金額、目標数値を設定し検証を行っていくという方法をとっているのご理解いただきたい。

Q 3 上太田市営住宅の長屋の5棟くらいは住んでいない建物がある。空き家になっている棟は撤去すべきでは。

A 3 平成28年度の予算で4棟取り壊す予定。残り1棟も取り壊すように検討している。

平成28年度 5棟解体 今後も空き家の棟がまとまり次第、順次解体。
--------------------------------------

6 閉 会 20:35